

おおはるきたまじま

10月1日、認知症ケア専門「愛の家グループホーム大治北間島」 新規開設のお知らせ

認知症状改善率 85%以上の MCS 版自立支援ケアも導入予定

株式会社 学研ホールディングス（東京・品川／代表取締役社長：宮原博昭）のグループ会社、メディカル・ケア・サービス株式会社（埼玉・さいたま市／代表取締役社長：山本教雄）は、2022年10月1日に認知症ケア専門のグループホーム「愛の家グループホーム大治北間島」を新たに開設いたしましたので、お知らせします。



<事業所概要>

事業所名	愛の家グループホーム大治北間島		
開設日	2022年10月1日		
所在地	愛知県海部郡大治町大字北間島字屋敷 119 番地（TEL：052-526-3620）		
敷地面積	751.03 m ²	定員	18名（1ユニット9名）
延床面積	605.28 m ²	月額利用料	家賃 58,000 円
居室面積	11.26～11.79 m ²		共益費 19,903 円
		管理費 30,556 円 + 介護保険	
		食事代 48,600 円 自己負担分	
		合計	157,059 円
アクセス	名鉄バス「東条」バス停より徒歩4分・大治町役場より徒歩10分・名古屋鉄道津島線 碓目寺駅より車で11分		

●MCS 版自立支援ケアの実施について

現在当社では、「MCS 版自立支援ケア」に取り組んでいます。MCS 版自立支援ケアは、認知症の二次要因である「身体的活動性の低下」と「精神・生活環境状態の悪化」に注目し、認知症の周辺症状の改善を目指すものです。科学的根拠を基に、各事業所の介護職員と看護・リハビリの専門職のチームで行います。

具体的には、まず一人ひとりの身体機能や栄養状態、認知症の症状に関する約 250 項目のアセスメント（調査・評価・分析）を実施。その後、一人ひとりにあった「適正水分量の摂取」「タンパク質を中心とした栄養改善」「運動プログラムの実施」、および「処方薬の適正化」を、6 か月間実践します。約 250 項目のアセスメントは毎月更新します。

結果調査済みの 284 事業所 4454 名のうち 85%以上の方に認知症状の改善が見られており（6 月末現在）、転倒骨折による入院数の減少や、下剤を中心とした減薬などの効果も見られています。当事業所でも導入を予定しています。

●本件に関するお問い合わせ●

メディカル・ケア・サービス株式会社 コーポレートコミュニケーション室

〒330-6029 埼玉県さいたま市中央区新都心 11 番地 2 ランド・アクシス・タワー 29 階

TEL. 048-711-8308 Mail. ml_cc@mcsj.co.jp